

第 7 回 大 山 町 議 会 定 例 会 会 議 録 (第 5 日)

令和 7 年 9 月 25 日 (木曜日)

議 事 日 程

令和 7 年 9 月 25 日 (木曜日) 午前 10 時開議

1. 開議宣告

- 日程第 1 議案第 86 号 大山町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 2 議案第 87 号 大山町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 3 議案第 88 号 大山町早期退職希望者の募集及び認定に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 4 議案第 89 号 大山町観光振興計画審議会条例の制定について
- 日程第 5 議案第 90 号 財産の取得について (圧雪車)
- 日程第 6 議案第 91 号 財産の取得について (スクールバス)
- 日程第 7 議案第 92 号 令和 6 年度大山町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 8 議案第 93 号 令和 6 年度大山町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 9 議案第 94 号 令和 6 年度大山町開拓専用水道特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 10 議案第 95 号 令和 6 年度大山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 11 議案第 96 号 令和 6 年度大山町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 12 議案第 97 号 令和 6 年度大山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 13 議案第 98 号 令和 6 年度大山町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 14 議案第 99 号 令和 6 年度大山町風力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 15 議案第 100 号 令和 6 年度大山町温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 16 議案第 101 号 令和 6 年度大山町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 17 議案第 102 号 令和 6 年度大山町索道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 18 議案第 103 号 令和 6 年度大山町下水道事業会計決算の認定について
- 日程第 19 議案第 104 号 令和 6 年度大山町水道事業会計決算の認定について
- 日程第 20 議案第 105 号 令和 7 年度大山町一般会計補正予算 (第 5 号)
- 日程第 21 議案第 106 号 令和 7 年度大山町開拓専用水道特別会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第 22 議案第 107 号 令和 7 年度大山町国民健康保険特別会計補正予算 (第 4 号)
- 日程第 23 議案第 108 号 令和 7 年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算 (第 4 号)
- 日程第 24 議案第 109 号 令和 7 年度大山町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号)
- 日程第 25 議案第 110 号 令和 7 年度大山町介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)

- 日程第 26 議案第 111 号 令和 7 年度大山町風力発電事業特別会計補正予算（第 2 号）
 日程第 27 議案第 112 号 令和 7 年度大山町下水道事業会計補正予算（第 2 号）
 日程第 28 議案第 113 号 令和 7 年度大山町水道事業会計補正予算（第 2 号）
 日程第 29 議案第 114 号 財産の取得について（G I G A スクール端末）
 日程第 30 議案第 115 号 財産の処分について（高田工業団地内風車等解体条件付き土地）
 日程第 31 議案第 116 号 工事請負契約の締結について（福祉センターなかやま 空調設備更新工事）
 日程第 32 議案第 117 号 令和 7 年度大山町一般会計補正予算（第 6 号）
 日程第 33 議案第 118 号 令和 7 年度大山町水道事業会計補正予算（第 3 号）
 日程第 34 議案第 119 号 工事請負契約の締結について（名和野球場ナイター照明 L E D 化改修工事）
 日程第 35 陳情第 5 号 免税軽油制度の継続を求める陳情書
 日程第 36 陳情第 6 号 消費税率 5% への引き下げとインボイス制度の廃止を求める陳情書
 日程第 37 陳情第 7 号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026 年度政府予算に係る意見書採択の陳情書
 日程第 38 陳情第 8 号「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情書
 日程第 39 陳情第 9 号 保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書
 日程第 40 陳情第 10 号 保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情
 日程第 41 発議案第 5 号 免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について
 日程第 42 発議案第 6 号 少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出について
 日程第 43 発議案第 7 号「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書の提出について
 日程第 44 発議案第 8 号 保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書の提出について
 日程第 45 議員派遣について
 日程第 46 閉会中の継続調査について（総務経済常任委員会 所管事務調査）
 日程第 47 閉会中の継続調査について（教育民生常任委員会 所管事務調査）
 日程第 48 閉会中の継続調査について（広報常任委員会 所管事務調査）
 日程第 49 閉会中の継続調査について（議会運営委員会 所管事務調査）

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（16 名）

1 番 浅 田 龍太朗	2 番 小 林 直 哉
3 番 近 藤 隆 博	4 番 京 力 久 子
5 番 西 本 憲 人	6 番 豊 哲 也
7 番 島 田 一 恵	8 番 加 藤 紀 之

9 番	池 田 幸 恵	1 0 番	大 原 広 巳
1 1 番	米 本 隆 記	1 2 番	大 森 正 治
1 3 番	杉 谷 洋 一	1 4 番	近 藤 大 介
1 5 番	野 口 俊 明	1 6 番	吉 原 美智恵

欠席議員(なし)

欠員(なし)

事務局出席職員職氏名

局長 …………… 野 間 光 書記 …………… 林 原 彰 吾

説明のため出席した者の職氏名

町長 …………… 竹 口 大 紀	教育長 …………… 鷺 見 寛 幸
副町長 …………… 吉 尾 啓 介	教育次長…………… 浦 木 美 穂
総務課長 …………… 金 田 茂 之	地方創生監…………… 山 根 篤 大
財務課長 …………… 池 山 大 司	幼児・学校教育参事…… 鷺 見 勇 樹
商工観光課長…………… 源 光 靖	総合戦略課長…………… 金 田 弘 美
総合福祉課長…………… 田 中 真 弓	幼児・学校教育課長 …… 井 上 龍
まちづくり課長…………… 深 田 智 子	社会教育課長…………… 西 尾 秀 道
水道課長…………… 大 前 満	

午前 10 時開会

開議宣言

○議長（吉原 美智恵君） 皆さん、おはようございます。

今日は議会最終日になりました。活発な議論を望んでおります。

ただいまの出席議員は16名です。

定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

日程第 1 議案第 86 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 1、議案第 86 号 大山町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 86 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第86号は、原案のとおり可決されました。

----- . ----- . -----

日程第 2 議案第 87 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 2、議案第 87 号 大山町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔 「なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 87 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 87 号は、原案のとおり可決されました。

----- . ----- . -----

日程第 3 議案第 88 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 3、議案第 88 号 大山町早期退職希望者の募集及び認定に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔 「なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 88 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 88 号は、原案のとおり可決されました。

----- . ----- . -----

日程第 4 議案第 89 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 4、議案第 89 号 大山町観光振興計画審議会条例の制定についてを議題とします。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 89 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 89 号は、原案のとおり可決されました。

日程第 5 議案第 90 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 5、議案第 90 号 財産の取得について(圧雪車)を議題とします。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 90 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 90 号は、原案のとおり可決されました。

日程第 6 議案第 91 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 6、議案第 91 号 財産の取得について(スクールバス)を議題とします。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 91 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 91 号は、原案のとおり可決されました。

日程第 7 議案第 92 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 7、議案第 92 号 令和 6 年度大山町一般会計歳入歳出決算の認定についてから、日程第 19、議案第 104 号 令和 6 年度大山町水道事業会

計決算の認定についてまで、計 13 件を一括議題とします。

審査結果の報告を求めます。令和 6 年度決算審査特別委員長 豊 哲也議員。

○令和 6 年度決算審査特別委員長（豊 哲也君） それでは、報告書を読み上げて報告とさせていただきます。

令和 6 年度決算審査特別委員会報告書。令和 7 年 9 月 25 日。

大山町議会議長 吉原美智恵 様

令和 6 年度決算審査特別委員会委員長 豊 哲也。

令和 7 年 9 月 3 日、令和 7 年第 7 回大山町議会定例会において設置された議員全員による、令和 6 年度決算審査特別委員会に付託された、令和 6 年度一般会計及び各特別会計決算認定議案について審査したので、会議規則第 77 条の規定により下記の通り報告します。

記

1. 事件名は、議案第 92 号 令和 6 年度大山町一般会計歳入歳出決算の認定についてから、議案第 104 号 令和 6 年度大山町水道事業会計決算の認定についての 13 議案です。
2. 審査の経過および審査の結果、付託を受けた 13 議案について、分科会方式で審査を行うとともに、9 月 22 日に委員全員で審査を行った。

その結果、付託された 13 議案については、賛成多数で、認定すべきものと決定した。

3. 審査意見、

（1）一般会計

【総合戦略課】外部人材アドバイザー事業について、住民サービスへの具体的効果が不透明・必要性が見えにくいなどの意見が出た。実施する事業の目的や成果をより具体的に示してほしい。

他課の事業を所管しすぎて、本来の戦略的・調整的な役割が弱まっているなど、課の存在目的が分かりにくいとの指摘があった。明確に役割を示し、それに見合った事業実施体制を構築すべきである。

【財務課】実質単年度収支では赤字決算となり、2 年連続赤字となっている。大きな単発的支出があったわけではなく、扶助費や人件費、会計年度任用職員への処遇改善による期末手当支給など恒常的経費の増加によるものである。構造的赤字であると認識しており、各事業の改善・見直しなどを図るべきである。

【農林水産課】中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付金に取り組む組織が減少するなど、農村集落の担い手不足は大きな課題である。集落間のネットワーク化も進展せず有効な打開策がない現状であり、事務負担を軽減するため町が予算をつけて専任人材を配置するなど、集落の支援体制の構築も検討すべきである。

【商工観光課】大山町応援券事業について、商工団体からの経済支援の要望を受け実施したが、食品・日用品の小売業に集中し商工事業者の大多数が恩恵を受けていないので

はないかとの指摘があった。経済支援においてはより幅広い事業内容を検討すべきである。ドリームカーフェスタについて、過去の事務事業評価で町ではなく民間主導で運営すべきと改善が求められていた。それにもかかわらず改善が見られない点が問題視されており、改善を求める。

【こども課】子育て家庭における経済的負担の軽減のために実施された、チャイルドシート購入費・届出保育施設等保育料負担軽減事業費補助金・修学旅行費助成金・新入学応援ギフト・教材等購入費助成金・学校給食費補助金の6事業の目標を明確にし、PRの促進などで成果につなげてほしい。

【幼児・学校教育課】令和6年度から実施された短期英語留学プログラム事業について、限られた人数が対象であり公平性の観点からも内容・効果の検証を次年度に向けてしてほしい。

令和5年度から小中全校にALTが倍増し、全校に一人ずつ配置されている。他町村に比べ、児童・生徒のリスニング力、スピーキング能力の向上、英語教員の指導力が向上しているが、直接的な原因なのか、費用に見合った効果があるのかという意見もあった。総額で3,000万円を超える大きな予算の事業なので、配置人数について都度、検証を行うべきである。

【長寿支援課】地域介護予防活動支援事業、いわゆる通いの場の運営のための補助金について、令和6年度は9団体が利用したと確認したが、制度設計上煩雑な事務が発生している。使いやすい制度への見直しと丁寧な説明をしていくことを求める。

(2) 大山町国民健康保険診療所特別会計

診療所に関しては、各診療所において採算が合っているかどうかで議論するのではなくどれだけの住民サービスが図れ、そこにどれだけ予算をかけられるのかとの観点が重要である。住民に対してのメリットとしては、総合医療が受けられること、病院のないエリアの補完、訪問診療、地域自主組織と連携し予防医療を行っていることなどがあげられる。それらを踏まえて、3か所の診療所の機能を明確にし、現在担当課において検討されている案を住民の理解が得られるように統廃合なども検討いただきたい。

4. 付帯意見

(1) 既存集落（農村・漁村集落）の今後について

中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金の継続が困難な組織・集落等も見受けられ、事務的な補助があると助かるという声も寄せられているが、その支援や施策は十分とはいえない状況である。

今後は、既存集落をいかに守り、持続させていくのかについて町としての方向性を明確に示し、水路の維持や事務作業をする人材の担い手確保、農地を守る具体的な事業化を進めていくことを求める。

(2) 町財政状況について

人件費の増加や物価高騰等により、町財政への負担は一層重くなっている。その結果、令和 6 年度一般会計決算においても、令和 5 年度に続き実質単年度収支が赤字となり、しかも赤字幅は拡大した。特段の臨時的支出がない中での 2 年連続赤字は、構造的な赤字であると思われ、今後の財政運営に対し十分な警戒を要する事態である。

令和 6 年度決算における財政健全化判断比率の 4 指標は、いずれも早期健全化基準を下回っているものの、財政調整基金の取り崩しなしには予算編成が困難となるなど、構造的な赤字体質に移行しつつある。したがって、4 指標のみで財政状況を判断するのではなく、経常収支比率、財政調整基金残高、実質単年度収支の推移など、多角的な視点から総合的に評価する必要がある。

(3) 今後の機構改革について

近年頻繁に実施されてきた機構改革は、必ずしも事務の効率化や効果的な改善につながっていない状況が見受けられる。

公民館全般について従来の担当課は社会教育課であったが、公民館のリニューアルが打ち出されてからは、まちづくり課が公民館業務を担うようになった。社会教育の要素をしっかりと残すことに今後特段の注力をいただきたい。

また、管理職の増加や事務の複雑化などにより、人件費の上昇を招いている側面も見受けられる。

今後の機構改革にあたっては、こうした弊害を招かぬよう、十分な内部協議を行い、慎重かつ計画的に実施されたい。

以上で特別委員会の審査報告を終わります。

○議長（吉原 美智恵君） これから、委員長報告に対する質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

（日程第 7） 議案第 92 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 92 号 令和 6 年度大山町一般会計歳入歳出決算の認定について討論を行います。討論ありませんか。

○議員（5 番 西本 憲人君） 議長、5 番。

○議長（吉原 美智恵君） 5 番 西本議員。

○議員（5 番 西本 憲人君） おはようございます。

議案第 92 号一般会計の決算について、反対の立場で討論をさせていただきます。

今回の一般会計決算に対しては、評価をできる事業もたくさんあります。例えば、税務課から報告を受けました町税の収納率がアップしたこと、こちらは令和 5 年度から職員の頑張りが成果につながり、前年度を上回る実績がありました。これはとても評価で

きる点の1例だというふうに思っています。

しかし、今回は、全体の決算として私は認定することはできません。二つ、私が危機感を持って今後改め、改善してほしいというポイントを紹介させていただきます。

一つ目は、財政です。先ほど豊委員長から報告もありましたように、今回は実質単年度収支というものが赤字となっています。この指標は、今まで町財政であまり意識されることはありませんでした。4月の町長選挙でも争点になった町の財政状況、竹口町政、町長は一貫して、国が定める財政4指標が健全であるため問題はないと言い張ってきました。今までは確かにそうだったかもしれません。

ただ、今回は実質単年度収支が赤字になったことを問題として感じています。本来この数値は赤字と黒字を繰り返す要素がある数値です。しかし、今回、実質単年度収支は、3点、2年連続赤字が続いたこと。令和5年よりも令和6年のほうが赤字幅が増えていること。三つ目は、大きな支出がなくても赤字になったこと、この3点がよくないと思っています。

今の状態は構造的な赤字体質が始まったということで、合併してから大山町が初めて迎える、この先続いていくかもしれない赤字体質がスタートしたということになっています。こちらの実質単年度収支と言われると分かりにくいかもしれませんが、家計に例えると、去年よりも、今年は家計が回っていません。今年のほうが貯金を崩さないと言っていけません。車とか大きな買物をしたわけではないのに、生活が回りません。こういった状態が今の大山町の実質単年度収支赤字だと思います。

現在では貯金を崩して何とかやっていますという状況が続いていまして、私としては、昨年からずっとこちらに警笛を鳴らしてきたのに、昨年は改善の見込みがなかったと。ただですね、これは大山町だけが悪いわけではありません。世の中では、物価高騰や人件費が国の基準で増えたことなどが主な原因ですので、大山町のやり方だけが悪いというわけではありません。

私が言いたいのは、現状をちゃんと受け止めることが、昨年のうちにできていたら、今大山町でやられているサマーレビュー、いわゆる事業の見直しですね。こういったことを昨年から着手すること、もしくはやろうとするっていう意思表示ができたのではないかなというふうに思います。今の財政状況半分は時代の流れ、半分は町の危機感を持つのが遅かったということが原因となっています。財政が一つの理由です。

もう一つは、具体的には通いの場事業、これは高齢者の介護予防事業として、令和6年から始まった事業です。これは三、四年前、教育民生常任委員会からずっと追いかけて続けてきた事業でして、地域の高齢者のサロンを企画するための補助的な事業です。いわゆる地域の高齢福祉の受皿になるための事業です。

主催している方たちは基本ボランティアでサロンを運営するのに、お茶菓子を用意したり、ゲームをやってくれたりする人を招いたりするようなことに使える、そんな事業

です。こちらは令和6年4月に開始を楽しみにしてた団体がたくさんありました。

ただ、いざ始まってみると、サロンで使うお茶菓子が対象外で、みんなが集まっても茶菓子が出せませんということで苦情が殺到しました。急遽、議会と執行部で会議を持って、課長、町長を呼んで説明を受け、その中で出たことで、茶菓子が使える対象になりました。

そういったことでですねいろいろ問題が起きながらやっとスタートしたんですが、その当時、制度の内容がスタート時には変わったんですけど、その制度の周知をされることもなく、結果1年振り返ってみると、参加団体がちらほらと抜けていくということになりました。

これでは地域の福祉の受皿がなくなり、地域福祉が衰退していきます。大山町では子ども施策が充実していることはありがたいですが、高齢者のことを見ていないというような声も議会や議員には届いています。現在、誰のための何の事業か分からない状態になってしまっているのがこの通いの場事業です。とても使いづらい事業でですね、これは早急に制度内容を見直し、事務作業を簡略化し、多くの団体が手挙げをしやすい状態にすることが求められています。

財政のこと、通いの場事業のこと、2点とも共通しているのは、予兆があったのに、そのときに対応していなかったため、こじれてきているということです。議会の意見、住民の意見をしっかりと受け止め、その都度改善を図ればこうはならなかったというふうに思っています。

以上のことから、令和6年度決算は認定することはできません。

最後に一言。議会が変われば、大山町は変わります。半分以上の議員がまともな判断と行動すれば町が変わります。議員の皆様、ぜひ御自身の意見を持って、意思表示をしていただければというふうに思っています。以上です。

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

○議員（9番 池田 幸恵君） 議長、9番

○議長（吉原 美智恵君） 9番、池田議員。

○議員（9番 池田 幸恵君） 原案に反対の意見で討論させていただきます。

皆さんが出された委員会の報告書は、実質単年度収支が2年連続で赤字となり、西本議員もおっしゃいましたが特に大きな臨時的支出がない中での赤字拡大を構造的な赤字と明確に指摘しています。この指摘は、現在の町の財政運営が、持続不可能な状況に近づいていってるんじゃないかなと本当に感じています。財政調整基金の取崩しなしに、予算編成が困難になりつつあるという事実を皆さんで話し合っ、委員会報告出しています。にもかかわらず、皆さん認定すべきという結論で委員長報告がありました。

構造的な赤字をここで議員がしっかりと意思表示をし、注視していかないと、安易に決算を認定することは、将来の町民に、子供たちにですね、過大な責任を負わせることにつながると感じます。

現に、今まであった住民サービスに影響が出ていると、令和6年度予算では感じています。ましてや、決算報告の指摘にもあった、本当に必要としていること、まだまだ農業に関しても着手できてないような状況があると感じています。

よって、私は、令和6年度一般会計の認定に反対で意思表示をします。

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

〔「議長、14番」「12番」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 先に大森議員が挙げてましたね。

12番 大森議員。

○議員（12番 大森 正治君） 令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定について、私は反対の立場で討論をいたします。

まずは評価すべき点から述べます。子育て支援策としての修学旅行費助成金、新入学応援ギフト、教材等購入費助成金、学校給食費補助金、この4項目の合計は、約1億400万円でした。小中学生1人あたりにしますと、約9万7,000円の助成金、あるいは補助金になります。これだけの公費負担をしている自治体は、県内はもちろん全国的にもあまりないのではないかというふうに推測します。

本来なら、憲法26条に、義務教育は無償とするとあるように、国が実施すべき政策です。それを本町は具現化している自治体として、評価するものであります。

ただ、費用対効果が見える化するのは難しい側面がありますが、少子化対策としての効果を上げるために、これを大山町の売りとして、もっと町内外に発信しPRしてもいいのではないかと思います。

一方、本決算には、見直すべき事業として、再三指摘してきたところですけども、同和対策関連事業があります。長年の国を挙げた同和対策事業によって大山町内においても、同和地区内外の格差はなくなり、町民の人権意識の高まりによって、今や大山町内では、同和問題は深刻な人権問題ではなくなっているというのが、多くの町民の皆さんの実感ではないでしょうか。

同和地区に限った特別対策として、進学奨励交付金、地区活動費補助金、地区進出学習会、固定資産税の減免の事業がありますが、これらはもはや必要性がなくなってきております。

この中でも地区活動費補助金について指摘します。旅費として、部落解放同盟の会議や大会などに補助金が充てられておりますが、部落解放同盟は民間運動団体であり、公

的団体ではありません。民間運動団体の会議や大会などに公費が使われるのは不適切と考えます。また、被差別部落に由来のある人が、差別を見抜く力、差別から自分を守る力、差別に立ち向かう力を育むために、研修会などへの参加にこの補助金が使われておりますけども、研修会の内容が地区の人たちに広く報告され還元されているのか、甚だ疑問と言わざるを得ません。

以上、同和対策関連事業の見直しを求めて、反対討論いたします。

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

○議員（1 番 浅田 龍太郎君） 議長、1 番。

○議長（吉原 美智恵君） 1 番 浅田議員。

○議員（1 番 浅田 龍太郎君） 1 番 浅田龍太郎です。

議長のお許しをいただきましたので、令和 6 年度大山町一般会計歳入歳出決算について、同和問題の観点から、賛成の立場から討論いたします。

まず前提として、この同和問題というのは過去の歴史的な経緯に基づく課題であり、本町においても一定の取組を続けてまいりました。その中で差別や偏見が表面上減ったように見えるものの、依然として地域内では相談の声ですとか、そういったことを受けたという声が上がっている状況であります。現場の声や日常の会話の中では多く、こういった取扱いを受けた、差別的対応をされたといった現状があるような状況です。

そのため、実際に出ている相談件数と、実績の件数というのものもあるんですけども、実際にはこの見えないこの実感の部分というのには大きな乖離があると考えております。

したがって、引き続き啓発や相談、教育の場を確保しつつ、声を上げられない人々に寄り添うとともに、本町としての体制を示していく必要があると考えております。

先ほどですね、大山町進学奨励交付金事業等、そういった事業に反対するという声がありましたけれども、例えばこの奨励金事業で言えば、これは同和地区の問題のみならず、県としても、また社会福祉協議会のほうでも、様々な奨励金があることや、また地区活動費、これについては、個人的には少し課題があるかなというふうには感じているんですけども、この課題というのは、これまで出張の際に払われていた金額がこのたびの改正によって払えなくなったことで、今、各地区が今後どういうふうな研修をしていこうかというようなところを議論し、どう地域に広めていこうかというところを考えているところでございます。

こういった、もう不要ではないかとの意見が多く聞こえてくるんですけども、確かに制度的な差別というのは減ってきたように思います。しかし、日常生活の中での偏見、また SNS ですとか、そういった現代的な手段を通じて、匿名性のもとに根強い偏見が広がるなど、より見えにくく表に出にくくなったというような形で存在しているものと考えております。なくなったように見える、なくなったのではないかと、ではなく、見えにくくなった、分かりにくくなったというのが現状です。

こういった多様化する問題に対応しつつ、継続して取り組むことで、差別の再燃をしっかりと防いでいくということが必要だと考えます。

また、今後、世代が変わってくるにつれて、こういった重要な部分としては、自らに向けられた言動ですとか、対応が差別に当たるのかどうかをしっかりと個人で判断してそれはいけないことだと、言葉にできる力や知識をしっかりと啓発、教育していくことだと考えております。そのためには、行政による一方通行の啓発ではなく、当事者が学んで気づいて、言葉を持つことのできる教育と対話の場をしっかりとつくっていく、これが今後ますます求められていくと考えております。

このようなことから、同和問題等の人権問題ですね、これに対して令和6年度同和問題に関する施策は必要性、妥当性ともに認められ、決算の執行状況もおおむね適正であったと判断いたします。

差別のないまち、そして誰も取り残さないまちを実現するために、こうした施策は終わらせるものではなく続ける責任のあるものというふうに考えていただきたいです。

よって私は、令和6年度大山町一般会計決算の認定に賛成いたします。

以上で討論を終わります。ありがとうございます。

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

○議員（14 番 近藤 大介君） 議長、14 番。

○議長（吉原 美智恵君） 14 番 近藤議員。

○議員（14 番 近藤 大介君） 一般会計決算の認定に反対の討論をいたします。

三つの理由から反対いたします。

一つは、農村集落を守る取組がほとんどできていないこと。二つ目は、厳しい財政悪化を招いていること。三つ目は、昨年3月に大山町議会として決議した令和6年度予算に対しての附帯決議、男女共同参画の推進を求めた決議について、令和6年度中ほとんどまともに対応されていないことが理由です。少し詳しく述べます。

ここ数年、大山町では、人口減少対策として、給食費の無償化や新入学応援ギフトとして、小学校の入学時に4万円、中学校入学時には9万円の商品券が配布されるなど、子育て世帯への経済的負担軽減に毎年1億円以上の予算を支出していますが、昨年度の出生数は大山町全体で64人、高額な予算支出に見合う成果はあまり出ていない状況です。また、子育て世帯の町外からの転入も一定程度あるとはいえ、その多くは大山インターの周辺や、名和インター周辺のごく限られた特定の地域に集中をしており、農業集落や漁業集落など既存の集落の少子化は、以前にも増して厳しい状況になっています。

今、日本中で米不足が問題になっていますが、日本人のアイデンティティーである米づくり、その基盤である水田を守るため、中山間地域直接支払いや多面的機能支払交付金など、国の支援制度があり、町内の多くの農業集落でこれに取り組んできていますが、今年、1割以上の組織が、取組の更新を断念されています。申請さえすれば、国から交

付金がもらえるのに、高齢化で事務作業が負担だったり、農地保全の担い手がいなくなったりしていることが原因です。このことは議会でも以前からその可能性が指摘されていたのに、町行政は何ら有効な対策をしてきませんでした。このまま農村集落からどんどん人がいなくなってしまうと、本当に農村集落が崩壊してしまいます。

竹口町長は、人口減少対策は、大山町全体で成果があればいいと再三言われていますが、本当にそれでいいのでしょうか。大昔から豊かな自然の中で生活を営み、これからも美しいふるさととして、この地域を守っていくためには、農村集落、漁業集落の担い手を確保し、育てる取組が不可欠であり、空き家の利活用や集落環境の整備など、既存の集落に若い世代が定住する施策の拡充が必要です。そのような取組がほとんどできていないことが、決算を可としない1番の理由です。

次に、財政の問題です。西本議員や池田議員も先ほど指摘されましたが、令和6年度の実質単年度収支は3億円の赤字です。経常収支比率は96.8%となり、財政の硬直化が1年前よりもさらに進んでいます。今年から竹口町長はサマーレビューとして事務事業の見直しに着手されていますが、町民の多くが、毎年楽しみにされている総合文化祭もサマーレビューの結果、来年以降の廃止が検討されるなど、大山町の財政状況は、本当に厳しいものになってきています。行財政改革をしっかりと進めていくことは、当然に必要なことでありますが、このような財政状況になってしまったことは、令和6年度の財政運営に問題があったためであり、その責任は厳しく問われるべきものと思います。

3点目に、男女共同参画の推進についてです。国が作っている男女共同参画基本計画では、深刻な人口流出や少子化の原因として、固定的な性別役割分担意識など、地域社会が女性にとって暮らしやすい環境になっていないことを指摘し、持続可能な地域社会の発展のためには、仕事や家庭の面で女性にとって魅力的な地域づくりが不可欠であるとしています。

このことを踏まえ、昨年3月大山町議会では、令和6年度予算審査に際し、大山町の男女共同参画の推進の施策が、中身が乏しく、行政の危機感が不足していることを指摘し、男女共同参画推進の取組を積極的に図ることを求めた附帯決議を賛成多数で可決しています。

しかし、令和6年度中、男女共同参画の取組はほとんど進展がありませんでした。議会の議決をないがしろにしたとも言えるこのような行政運営は、これだけをとっても決算を容認できない事由です。地方議会において、男女共同参画の推進に関して議決した例はほとんどなく、大山町議会の昨年の附帯決議は非常に画期的なものでしたが、大山町の未来のために、この決議を活かすことができなかったことを本当に残念に思います。

以上、三つの理由から、令和6年度決算を可としない反対討論とします。

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

○議員（8番 加藤 紀之君） 議長、8番。

○議長（吉原 美智恵君） 8 番 加藤議員。

○議員（8 番 加藤 紀之君） すいません、足が肉離れをしてしまいまして、歩きぶりが非常に悪いですが。お見苦しいところお見せしました。

私は、賛成の立場で討論をいたします。まず、予算と決算について皆さんに少しお話をさせていただきたいかなと思います。

令和 6 年度決算の認定に当たってですけれども、令和 6 年度予算、当初予算を私は、賛成をする立場にありませんでしたから、どのようなやりとりがあったのかっていうのは分かりませんが、議会として賛成を多数で予算として通ったはずでございます。そういった観点から申し上げますと、大森議員は決算で同和対策事業のことを指摘されましたが、大森議員、6 年度の当初予算、大山町議会として成立したんですよね。その上で効果的に事業が執行なされたのかどうかが大変なことであって、同和対策事業が入っているから駄目なんだっていう視点はそもそも間違いです。

それから、財政面の話にしてもそうです。例えば当初予算で幾らの金額だったかちょっとはつきり覚えてもおりませんが、財政調整基金は、この決算での確定額よりもはるかに大きな金額を取崩して予算組みだったと思います。にもかかわらず、1 億数千万円の取崩額で済んでいるというのは、しっかりと国の補助金や県の補助金を執行部側が確保したと、そういった努力の成果だというふうに私は感じております。

西本議員がおっしゃったように、半分は時代の流れ、これは結局インフレ局面にあるこういう時代においては、国の税収は増収し、後々地方交付税、交付金として反映されるけれどもすぐにはやってこないっていうことはずっと説明を町長からも受けてますので、そのことについては御理解いただけているのかなと思いますけれども、そういった段階で、たまたま 2 年連続で実質単年度収支が赤になったと。そのことについて、例えば我々の議会からも監査委員として野口議員を出してますけども、監査の指摘にも、実質単年度収支が 2 年赤字だからもう駄目だよ、問題だよっていう指摘は全くございません。そういった意味でも、財政のことに関してはちょっと心配し過ぎだと私は感じております。

池田議員がおっしゃるような持続不可能な状態になりつつあるというのもちょっと間違いだろうと私は思っています。例えば、家計で貯金を崩しながらも、貯金が崩せるんだから全然問題なくて、借金を重ねてもうこれ以上借りられませんというのは本当に持続不可能な状態だというふうに思いますけれども、貯金がある段階で使うというのは、私は非常にいいことだと思っています。というのも、インフレ局面において、今私が 100 万円を持っているとします。100 万円を使わずに、10 年ただ持っているだけだとすると、10 年後の物価と今の物価で買えるものっていうのは大きく変わってきます。

そういった状態でありますから、預貯金をずっと持っているだけというのは、住民サービスっていう観点から考えると、可能な限り有効に使っていくというのは一つの選択

肢かなというふうに感じております。

それから、近藤大介議員、文化祭の廃止に至った理由は、財政面の悪化が原因だというふうに私たちは説明を受けてませんよね。何かそういうふうに住民さんを誤解させるような討論をされるのはいかがかなと私は思いますけれども、文化祭の廃止は、発展的な解消だというふうに説明を受けたはずで、で、しかもそれは、確定事項ではまだございません。さらに言うと、令和6年度決算と直接的な関わりはないわけですね。

そういったものを理由に反対討論をされるというのは何かちょっと違うんじゃないですかというところも少し申し上げたいと思います。その上で、令和6年度決算、ほかの一般会計に限りませんね、下水道会計だったり水道会計だったり、それから介護保険の特会だったりとか、いろいろありますけれども、しっかりと効果的に住民の皆様のことを考えて、執行部側は予算を執行されております。

ただ、皆さんが望まれるような成果が出ていないと感じられる部分もあるかと思いますが、私は、1度に変わるものではないと思っています。それは男女共同参画の決議の話においてもそうだと思います。庁舎内では、女性の管理職の登用が5割近くになっていますけれども、これを例えば自治会や集落の役員に女性をもっと登用しろとかっていう部分は少し強制できるものでもないという点を考えると、意識改革っていう意味では、少しずつは進められると思いますけれども、いきなり5%だったものを20%にするとかっていうのは、ほんと実質的には不可能だというふうに思ってますし、全く努力をされていないわけではないというふうに感じております。

しっかりとそういった決議の部分だつたりには長い目で見守るということも必要なんじゃないかなと思っております。

その上で、特別委員会では、皆さんの意見を踏まえて付帯意見等も添付されていると思います。そういった部分、翌年度以降、しっかりと改善していただいた上で賛成をいたしたいと思います。以上です。

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 他に討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから、議案第92号を採決します。

本案に対する委員長の報告は認定であります。

本案は、委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 92 号は、認定することに決定しました。

ここで休憩いたします。11 時に再開いたします。

午前 10 時 52 分休憩

午前 11 時再開

（日程第 8） 議案第 93 号

○議長（吉原 美智恵君） 再開します。

これから議案第 93 号 令和 6 年度大山町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 93 号を採決します。

本案に対する委員長の報告は認定であります。

本案は、委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 93 号は、認定することに決定しました。

（日程第 9） 議案第 94 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 94 号 令和 6 年度大山町開拓専用水道特別会計歳入歳出決算の認定について討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 94 号を採決します。

本案に対する委員長の報告は認定であります。

本案は、委員長の報告のとおり、認定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 94 号は、認定することに決定しました。

（日程第 10） 議案第 95 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 95 号 令和 6 年度大山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 95 号を採決します。

本案に対する委員長の報告は認定であります。

本案は、委員長の報告のとおり、認定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 95 号は、認定することに決定しました。

（日程第 11） 議案第 96 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案 96 号 令和 6 年度大山町国民健康保険診療所
特別会計歳入歳出決算の認定について討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 96 号を採決します。

本案に対する委員長の報告は認定であります。

本案は、委員長の報告のとおり、認定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 96 号は、認定することに決定しました。

（日程第 12） 議案第 97 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 97 号 令和 6 年度大山町後期高齢者医療特
別会計歳入歳出決算の認定について討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 97 号を採決します。

本案に対する委員長の報告は認定であります。

本案は、委員長の報告のとおり、認定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 97 号は、認定することに決定しました。

（日程第 13） 議案第 98 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 98 号 令和 6 年度大山町介護保険特別会計
歳入歳出歳出決算の認定について討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 98 号を採決します。

本案に対する委員長の報告は認定であります。

本案は、委員長の報告のとおり、認定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 98 号は、認定することに決定しました。

----- . ----- . -----

（日程第 14） 議案第 99 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 99 号 令和 6 年度大山町風力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから第議案第 99 号を採決します。

本案に対する委員長の報告は認定であります。

本案は、委員長の報告のとおり、認定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 99 号は、認定することに決定しました。

----- . ----- . -----

（日程第 15） 議案第 100 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 100 号 令和 6 年度大山町温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 100 号を採決します。

本案に対する委員長の報告は認定であります。

本案は、委員長の報告のとおり、認定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 100 号は、認定することに決定しました。

----- . ----- . -----

（日程第 16） 議案第 101 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 101 号 令和 6 年度大山町宅地造成事業特別

会計歳入歳出決算の認定について討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 101 号を採決します。

本案に対する委員長の報告は認定であります。

本案は、委員長の報告のとおり、認定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 101 号認定することに決定しました。

（日程第 17） 議案第 102 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 102 号 令和 6 年度大山町索道事業特別会計歳入歳出決算の認定について討論を行います。討論はありませんか。

○議員（5 番 西本 憲人君） 議長、5 番。

○議長（吉原 美智恵君） 5 番 西本議員。

○議員（5 番 西本 憲人君） 議案 102 号 索道会計の索道特別会計の議案に対して決算を不認定で、私は反対の立場ですね、委員長報告と討論させていただきます。

私が反対する理由としては、先ほど一般会計のときにお話しした反対理由とほぼ同じです。昨年から予兆がありました。これは 1 期の議員の皆様はあまり分からないかと思います。昨年予兆があったのにですね、その時に対応ができなかったと。そのためこじれてきているというようなふうに思っています。こじれているというわけではないんですけれど、当時ですね議会の意見をしっかりと受け止めて、そういった議員、議会の意見じゃないですね、そういったことを言われる議員の意見ですね、その都度改善を図ればこうはならなかったというふうに思っています。

今後のスキー場をどうしていくかという中長期のビジョンを調査している委託会社があります。9 月に内容が中長期のビジョンの中間報告という形で出てきましたが、分かりやすくとてもいい内容だというふうに感じました。しかし、10 月には新たな指定管理業者の募集が始まります。これに対してを特に反対するつもりもないんですけど、このスケジュールで進めないと間に合わないんだよってというのが現状です。

だから、昨年、議会で言いました、早めに中長期のビジョンを出さないといけないよねと。ところが、その中長期のビジョンを求める委託会社への予算というのは選挙が終わって急遽組まれた、議会にかかったわけなんですけど。これあと 1 年早ければもう少し議会や議員が一緒になって、内容を把握する時間が持てたんじゃないでしょうか。

何度も言いますが、予兆があったのに、そのときに対応しなかったために、ぎりぎりになっていろんなことを、時間がない中、決めていかなきゃいけなくなっています。

我々議会でも十分な説明というのがタイミングよく受けてない状況で、住民さんに説明
って届くのでしょうか。知らない間に、気がついたら状況が変わっていた、こういうふう
になってきます。もちろん議会も住民も全てが、100 人いたら 100 人、頭を縦に振る
ようなことはないかもしれませんが、ある程度の納得と合意形成というのが必要だな
というふうに思います。

昨年、この件に関して議会から決議案が出ました、意見書が出ました。これに関して
は、議会では否決になりました。議会としての意思としては中長期のビジョンを早めに
求めることはないというような意思表示をしたわけなんですけど、ここが私は議会にも
かなり重い責任があるというふうに感じています。

どちらにしてもですね、今、お話ししたことから、令和 6 年度索道決算を認定するこ
とはできません。以上です。

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

他に討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 102 号を採決します。

本案に対する委員長の報告は認定であります。

本案は、委員長の報告のとおり、認定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 102 号は、認定することに決定しました。

----- . ----- . -----

（日程第 18） 議案第 103 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 103 号 令和 6 年度大山町下水道事業会計決
算の認定について討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 103 号を採決します。

本案に対する委員長の報告は認定であります。

本案は、委員長の報告のとおり、認定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 103 号は、認定することに決定しました。

（日程第 19） 議案第 104 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 104 号 令和 6 年度大山町水道事業会計決算
の認定について討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 104 号を採決します。

本案に対する委員長の報告は認定であります。

本案は、委員長の報告のとおり、認定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 104 号は、認定することに決定しました。

日程第 20 議案第 105 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 20、議案第 105 号 令和 7 年度大山町一般会計補正
予算(第 5 号)を議題とします。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 105 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり、決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 105 号は、原案のとおり可決されました。

日程第 21 議案第 106 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 21、議案第 106 号 令和 7 年度大山町開拓専用水道
特別会計補正予算(第 2 号)を議題とします。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 106 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり、決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 106 号は、原案のとおり可決されました。

----- . ----- . -----

日程第 22 議案第 107 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 22、議案第 107 号 令和 7 年度大山町国民健康保険特別会計補正予算(第 4 号)を議題とします。

これから討論を行います。討論はありませんか。

○議員（12 番 大森 正治君） 議長、12 番。

○議長（吉原 美智恵君） 12 番 大森議員。

○議員（12 番 大森 正治君） この大山町国民健康保険特別会計補正予算、反対の立場で討論します。

この予算は、子ども・子育て支援金制度の施行に伴うシステム改修に伴った予算であります。この子ども・子育て支援金制度は、政府が少子化対策として打ち出してきた制度ですが、来年度から、医療保険料とあわせて 1 人平均月額 250 円から 450 円まで段階的に引上げながら、支援金を徴収するというものです。

日本はこの 30 年間、失われた 30 年と言われるように、国民の負担は増える一方なのに賃金が上がらない国になってしまいました。そのため、若者世代は結婚もままならず、結婚しても経済的負担から、子供は最小限にとどめるということも 1 要因となって、少子化が進行しました。そうした政府の無策と言ってもいいツケを国民に負わせるというのはあまりにも私は理不尽な話だと思います。財源は急拡大をしている、防衛費を抑えたり、大もうけしている財界大企業や富裕層から、応分の負担を求めたりして、捻出すべきだと考えます。国会で既にこれは決定したこととはいえ、物価高の中、ただでさえ高い国保税に財源を求め、さらに被保険者の負担を増やして、暮らしを圧迫するような制度の仕組みには、賛成することはできません。反対討論とします。

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

〔 「なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

〔 「なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

〔 「なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（吉原 美智恵君） 他に討論はありませんか。

〔 「なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから、議案第 107 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり、決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 107 号は、原案のとおり可決されました。

日程第 23 議案第 108 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 23、議案第 108 号 令和 7 年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第 4 号)を議題とします。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔 「なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 108 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり、決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 108 号は、原案のとおり可決されました。

日程第 24 議案第 109 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 24、議案第 109 号 令和 7 年度大山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)議題とします。

これから討論を行います。討論ありませんか。

○議員（12 番 大森 正治君） 議長、12 番。

○議長（吉原 美智恵君） 12 番 大森議員。

○議員（12 番 大森 正治君） 大山町後期高齢者医療特別会計補正予算、これに反対の立場で討論します。

この予算もですね、先ほどの子ども・子育て支援金制度施行に伴うシステム改修に伴った予算です。先ほど、国保会計特別会計補正予算でも述べましたとおりですね、同じ理由で反対します。年金が実質的に目減りしている状況のもとで、後期高齢者の負担を増やして、暮らしを圧迫するような制度の仕組みには、賛成することはできません。

以上です。

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

〔 「なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

〔 「なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（吉原 美智恵君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

他に討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから、議案第 109 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり、決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 109 号は、原案のとおり可決されました。

----- . ----- . -----

日程第 25 議案第 110 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 25、議案第 110 号 令和 7 年度大山町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）を議題とします。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから、議案第 110 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり、決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 110 号は、原案のとおり可決されました。

----- . ----- . -----

日程第 26 議案第 111 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 26、議案第 111 号 令和 7 年度大山町風力発電事業事業特別会計補正予算（第 2 号）を議題とします。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから、議案第 111 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり、決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 111 号は、原案のとおり可決されました。

----- . ----- . -----

日程第 27 議案第 112 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 27、議案第 112 号 令和 7 年度大山町下水道事業会

計補正予算(第2号)を議題とします。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(吉原 美智恵君) 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第112号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり、決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長(吉原 美智恵君) 起立多数です。

したがって、議案第112号は、原案のとおり可決されました。

-----・-----・-----

日程第28 議案第113号

○議長(吉原 美智恵君) 日程第28、議案第113号 令和7年度大山町水道事業会計補正予算(第2号)を議題とします。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(吉原 美智恵君) 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから、議案第113号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり、決定することに、賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長(吉原 美智恵君) 起立多数です。

したがって、議案第113号は、原案のとおり可決されました。

-----・-----・-----

日程第29 議案第114号 ～ 日程第34 議案第119号

○議長(吉原 美智恵君) 日程第29、議案第114号 財産の取得について(GIGAスクール端末)から、日程第34、議案第119号 工事請負契約の締結について(名和野球場ナイター照明LED化改修工事)までの計6件を一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。竹口大紀町長。

○町長(竹口 大紀君) それでは、提案理由の説明をいたします。

議案第114号 GIGAスクール端末に係る財産の取得については、地方自治法第96条第1項第8号及び大山町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、本議会の議決を求めるものです。

令和7年度当初予算で議決をいただいたGIGAスクール端末の更新に関して、令和7年8月28日に鳥取県で共同調達先として決定している業者に見積を徴した結果、税込金額2,183万5,000円で、株式会社ケーオウエイが落札し、8月28日付けで物品購入仮契約を締結したところです。

なお、納入期限は令和 8 年 3 月 31 日としております。

続きまして、議案第 115 号 財産の処分について（高田工業団地内風車等解体条件付き土地）は、地方自治法第 96 条第 1 項第 8 号並びに大山町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第 3 条の規定により、本議会の議決を求めるものです。

本案は、大山町高田地内の土地 1 筆 8,337 平方メートルを風車等の解体条件付きで売却するものです。

本物件では、平成 17 年から町営の風力発電事業を行っていましたが、施設の老朽化等の理由から風力発電事業を終了し、跡地を工場用地として活用するため、株式会社タグチ工業へ売却するもので、風車等の解体費用が土地価格を上回るため、負担金 4,795 万 3,000 円を支払うものとしております。

本件に関して、風車等解体条件付き土地売買仮契約書を令和 7 年 9 月 12 日に締結したところです。

なお、風車等の解体撤去については本契約の日から 6 か月以内に完了することとしております。

続きまして、議案第 116 号 福祉センターなかやま空調設備更新工事に係る工事請負契約の締結については、地方自治法第 96 条第 1 項第 5 号及び大山町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第 2 条の規定により、本議会の議決を求めるものです。

令和 7 年度当初予算で議決いただいた福祉センターなかやま空調設備更新工事に関して、令和 7 年 8 月 18 日に 13 業者を指名し競争入札を実施したところ、税込金額 5,324 万円で、有限会社モロユ水道が落札し、8 月 22 日付けで工事請負仮契約を締結したところです。

なお、工期は本契約締結の日の翌日から令和 8 年 6 月 10 日までとしております。

続きまして、議案第 117 号 令和 7 年度大山町一般会計補正予算（第 6 号）について、提案理由のご説明をいたします。

本案は、企業版ふるさと納税寄附金を活用し、地域産業の競争力強化と地域定住の促進を図ることを目的として、町民や町内企業勤務者を対象とした先端デジタル人材の育成を行う『デジタル技術活用人材育成事業』を新規計上するため、既定の歳入歳出予算の総額に 528 万円を追加し、歳入歳出予算の総額を 128 億 7,558 万 8,000 円とするものです。

続きまして、議案第 118 号 令和 7 年度大山町水道事業会計補正予算（第 3 号）については、落雷により被災した佐摩水源地の取水ポンプ設備修繕を行うため、水道事業収益及び費用をそれぞれ 282 万 7,000 円増額するものです。

続きまして、議案第 119 号 名和野球場ナイター照明 LED 化改修工事に係る工事請負

契約の締結については、地方自治法第 96 条第 1 項第 5 号及び大山町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第 2 条の規定により、本議会の議決を求めるものです。

令和 7 年度 6 月補正予算で議決いただいた名和野球場ナイター照明 LED 化改修工事に関して、令和 7 年 9 月 16 日に 11 業者、17 日には 10 業者を指名し競争入札を実施したところ、税込金額 8,140 万円で、岡田電工株式会社が落札し、9 月 19 日付けで工事請負仮契約を締結したところです。

なお、工期は本契約締結の日の翌日から令和 8 年 3 月 19 日までとしております。

以上で、提案理由の説明を終わります。

(日程第 29) 議案第 114 号

○議長(吉原 美智恵君) ただいま 6 件の提案理由の説明が終わりましたので、この後、質疑、討論、採決を 1 件ずつ行います。

これから、議案第 114 号 財産の取得について(G I G A スクール端末)の質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(吉原 美智恵君) 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(吉原 美智恵君) 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 114 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長(吉原 美智恵君) 起立多数です。

したがって、議案第 114 号は、原案のとおり可決されました。

(日程第 30) 議案第 115 号

○議長(吉原 美智恵君) これから、議案第 115 号 財産の処分について(高田工業団地内風車と解体条件付土地)の質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(吉原 美智恵君) 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(吉原 美智恵君) 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 115 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 115 号は、原案のとおり可決されました。

（日程第 31）議案第 116 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 116 号 工事請負請負契約の締結について（福祉センターなかやま 空調設備更新工事）の質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 116 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 116 号は、原案のとおり可決されました。

（日程第 32）議案第 117 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 117 号 令和 7 年度大山町一般会計補正予算（第 6 号）の質疑を行います。質疑ありませんか。

○議員（1 番 浅田 龍太郎君） 議長、1 番。

○議長（吉原 美智恵君） 1 番 浅田議員。

○議員（1 番 浅田 龍太郎君） デジタル技術活用人材育成事業についてお聞きします。二つをお聞かせください。

まず一つ目、3D デジタル技術等先端技術とはこういった技術なのかを教えてください。

二つ目、内容が基礎習得ということだったんですけれども、今後、応用と段階的な研修を実施する予定等はあるのでしょうか。お願いします。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（吉原 美智恵君） 竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） 詳細は担当からお答えをさせていただきます。

○商工観光課長（源光 靖君） 議長、商工観光課長。

○議長（吉原 美智恵君） 源光商工観光課長。

○商工観光課長（源光 靖君） はい。まず3Dデジタル技術等の先端技術というところ
でございますが、これは、いわゆる3Dのデータ等を活用しまして、設計や製造、それ
から、例えばその他旅行業等であれば旅行場所の3D化、またアニメーションやゲーム
の製作等にも活用が可能というような技術でございます。こういったものについていわ
ゆるその基礎的なところの技術について、習得をできるような講座ができればと考えて
いるところでございます。

また、もう1問、基礎習得ということについての御質問をいただきましたが、この内
容につきましては、現在10回程度の講座で基礎習得ができるのではないかとというよう
なことについて、内部で協議を進めているところでございます。

その基礎習得についてその中では、その後の自主的な学習ができるような、学習もで
きるように、講座を進めていければと考えているところでございますが、例えばこれを
応用的なところで、町のほうで引き続きの講座というようなところは、現在のところは
今考えておりませんが、今回初めて実施する事業でございますので、その内容に応じて、
その後の例えば継続的な講座の実施というようなところは、検討を進めてまいりたいと
思います。

○議員（1番 浅田 龍太郎君） 議長。

○議長（吉原 美智恵君） 1番 浅田議員。

○議員（1番 浅田 龍太郎君） 2点目については理解いたしました。

まず1点目なんですけれども、これどういったツールを使うとかソフトウェアを使う
とかっていう、もし詳細が分かれば教えてください。

○商工観光課長（源光 靖君） 議長、商工観光課長。

○議長（吉原 美智恵君） 源光商工観光課長。

○商工観光課長（源光 靖君） はい。具体的なものについては、まだ今検討中でござい
ますが、例えばですけれども、アンリアルエンジンというようなソフトというところも
可能性としては考えております。以上です。

○議員（1番 浅田 龍太郎君） 議長。

○議長（吉原 美智恵君） 1番 浅田議員。

○議員（1番 浅田 龍太郎君） 今、アンリアルエンジンということだったんですけれ
ども、あれってゲーム関係の3D技術だったんじゃないかなというふうに考えるんです
けれども、それを実際に漁業ですとか、そういった大山町の畜産業に活かしていくっての
はどういった展望があるんでしょうか。お願いします。

○商工観光課長（源光 靖君） 議長、商工観光課長。

○議長（吉原 美智恵君） 源光商工観光課長。

○商工観光課長（源光 靖君） はい。今の例として出しましたアンリアルエンジンとい
うのは一つのツールでございます。

御指摘のとおり、例えばゲーム等の３Ｄの情報等処理したり、作成したりというようなソフトでございますが、必ずしもこのソフトを活用して何かということではございませんで、３Ｄのデータの活用の技術取得について、そういったものを可能性があると考えておまして、３Ｄのデータの活用については例えば工場の中のリアルタイムな状況把握というようなところにも活用可能なかなと。それは別にアンリアルエンジンに限ったものではないと考えております。

○議長（吉原 美智恵君） 他に、質疑ありませんか。

○議員（５番 西本 憲人君） 議長、５番。

○議長（吉原 美智恵君） ５番 西本議員。

○議員（５番 西本 憲人君） 同じく、デジタル技術活用人材育成事業についてです。

こちら予算で５２８万円、１５人に１０回コースの講習をする予算として今回提案されております。これ単純計算で１人３５万円、１０回コースなんて１回につき３万５、０００円ということなんですけど、今、内容としては浅田議員から出た質疑に対してですね答えられたんで、１例としてアンリアルエンジンだということで、ちょっと分からないんでうがった見方をしてしまいそうになるんですけど。１人３５万円かけて１回３万５、０００円かけてゲームをつくる講習をする、これが必要なのかなというちょっと何かかなり偏った言い方で申し訳ないんですけど、もうちょっと必要性を教えてもらえたらなと思っております。

また、これ財源が企業版ふるさと納税ということで伺っておりますが、これどういった企業が幾らぐらいの寄附をしてですね、この内容をこれで事業提案に至ったのかという経緯を教えて、言えるところまで教えてもらえたらなと思っております。また、ソフトウェアを何にするか決めてないとか、その講習内容は決まってない状態なんではなか、その辺がちょっとよく分からなかったんで教えてください。

○商工観光課長（源光 靖君） 議長、商工観光課長。

○議長（吉原 美智恵君） 源光商工観光課長。

○商工観光課長（源光 靖君） 先ほどの説明がちょっと不足しておったかと思っておりますけれども、これは３Ｄのデジタル技術の活用等について技術習得をするというものでございまして、必ずしもそのゲームをつくるための技術を学んでいただくというものではないというふうに考えております。

例えば、具体的な活用例といたしましては、大山町内の工場等でも、その工場の内部の現在の状況について、例えば、どういう機械がどういう状況、それからどういうものがどこに今行っているというようなものについて、３Ｄ化して、リアルタイムで、事務所のほうで監視ができるというようなことにも活用できると考えておりますし、単純には、例えば製品設計等にも３Ｄ技術は十分に活用されている状況でございますので、そういう製品設計について、町内の事業者でも活用ができると考えておりますし、あとも

う一つは町内の事業所での活用でない場合につきましても、例えば在宅での業務、設計業務というようなところで、大山町に居ながらにして、例えば県外の事業者の仕事を受けるというようなことも可能かと考えております。そういった、いわゆる３Ｄ技術を幅広く学べる事業というふうに考えております。

それから今財源について御質問がございました。こちらにつきましては、意見交換、今しているところでございますけれども、事業者の分野について、製造業の事業者というような状況でございますけれども、事業者のほう、寄附後に、例えば企業名、それから金額につきましてはまだこれからでございますが、寄附のときにそこは判断したいということでお話をいただいておりますので、その結果によってまた公表できるのかなと考えております。以上です。

○議員（５番 西本 憲人君） 議長、５番。

○議長（吉原 美智恵君） ５番 西本議員。

○議員（５番 西本 憲人君） はい、ちょっと私も理解が追いつかないんですけど、基本的には様々な業種で必要性があるということで、このデジタル技術の習得の講座を設けられると、そこは理解できました。内容までは理解できませんけど。こういったメニューを考えているか分かりませんが、そこまでやっぱり金額がする講習なんでしょう。本来１人３５万円なんで結構かなと思います。単純計算で割ったときに、５２０何万の寄附があつて、それ丸々使うわけじゃないんですけど、１人幾らの講習が実際は補助ってことでされるのかお聞きしたいです。これは受益者負担、いわゆるその講習に受けられる人が、自腹が少し発生するのか、自己負担が発生するのかしないのかっていうところも聞きたいですし、議場の前で少し説明をお聞きした際には、なぜ急にでてきたかということで聞かせてもらいました。

何か今までこのデジタル技術の話というのは、そんなにでてきてないので、急に３Ｄの寄附が起こったから、その寄附者が希望した企業版ふるさと納税を寄附される方、会社さんが、希望したからこれが立ち上がってるっていう理解で合ってますか。もしそういう理解であつてる場合に、ちょっと一つ懸念があります。企業版ふるさと納税は、近年なんかの不正取引になりかねないというふうに訴えられてる弁護士さんたちが、それなりに数がおります。この辺がちょっとちゃんとクリアできてるのかということで、ちょっと懸念があるので教えてください。

○商工観光課長（源光 靖君） 議長、商工観光課長。

○議長（吉原 美智恵君） 源光商工観光課長。

○商工観光課長（源光 靖君） はい。まず受益者負担ということですが、このたびの事業実施は初めてということもございまして、今のところを考えておりません。

それから、この話が急に提案があつたということでの御指摘がございました。こちらにつきましてはそのとおりでございまして、この事業をするにあたりまして、いわゆる

企業版ふるさと納税の寄附について、今、現在意見を交換させていただいてる事業者のほうから、大山町内でそういう人材というのが今いないのではないかなという御指摘を受けました。いわゆるその3D技術を習得しているような方が少ないのではないかなという御指摘を受けました。

それを受けて、例えば町内の事業者の団体等にちょっと様子を聞き取りいたしました結果、やはりそういった技術が全国的な事業所では使われているという状況であるが、自分たちのところではなかなかその導入までは行けてないということ。それから興味についてはあるということ、またこういう講座が行われた場合には、参加したいというような意見も確認をしたところでございます。

そういったところを受けまして、こういった講座を実施することについて、意義があるのかなというふうに町としては考えておりますし、またそういう方向について、事業をすることということについて、現在意見交換をしている企業版ふるさと納税の寄附意向の事業者のほうとも、情報交換をしているところでございます。

また企業版ふるさと納税の活用、受けた財源を使つての事業実施についての不正についての御指摘がございました。これについて、総務省のほうにも確認をとっておりまして、いわゆる特定の事業者が受注できるような事業実施については、やはりまずいであろうということの御指摘をいただきましたが、あわせて広く実施事業者を募集するような手続をとることであれば全く問題ないということでの見解をいただいております。

今後、この予算議決いただきました場合には事業実施の際には、そこはしっかりと守りながら、事業実施を考えております。

あと単価についての御指摘もございました。単価につきましては、ちょっと市場価格等参考にしたところでは、3D技術習得については、必ずしも高い金額ではないと、今のところ考えておりますが、まだ現在の設計の段階はこれからでございますので、その中で、もうちょっと精査はしてまいりたいと思います。

〔「了解しました」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 他に質疑ありませんか。

○議員（6番 豊 哲也君） 議長、6番。

○議長（吉原 美智恵君） 6番 豊 哲也議員。

○議員（6番 豊 哲也君） はい。すいません、ちょっと関連、続けてですけども、その企業版ふるさと納税を行ってくださる事業者と受益者になるであろう、そういう町民の方々との関係性というか、特に資本関係とかないかどうかっていうのはいかがなんでしょうか。

○商工観光課長（源光 靖君） 議長、商工観光課長。

○議長（吉原 美智恵君） 源光商工観光課長。

○商工観光課長（源光 靖君） 受益者がこの講座の受講者ということであれば、そちら

については今のところないものと考えているところでございます。

○議員（6 番 豊 哲也君） 議長。

○議長（吉原 美智恵君） 6 番 豊 哲也議員。

○議員（6 番 豊 哲也君） ちょっと答弁漏れというか、あれなんですけども、僕の聞き方が悪かったのか、まずそのふるさと納税を行っていただく、寄附される方と受益者になるであろうかとか、広く公募すると言ったんですけども、ある程度決まっているところもあるんじゃないかと思うんですが、そうした企業との資本関係はないのかというところをお聞きしてます。

○商工観光課長（源光 靖君） 議長、商工観光課長。

○議長（吉原 美智恵君） 源光商工観光課長。

○商工観光課長（源光 靖君） 失礼いたしました。いわゆるその事業の受託者ということでの御質問でございましたら、これについては、今のところ先ほども御説明差し上げましたように、これから広く募集するということで、特に今決まった状況ではございませんので、全く問題ないかと考えております。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（吉原 美智恵君） 竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） すいません、うまく答えておりませんけれども、豊議員が言われるみたいな受講者がもう既に決まっているということはありませんし、これから講座自体がプロポーザルでそれをやったださる事業者を選定していくということになりますし、そこが決まってからその事業者が募集していくことになりますので、現段階で特定の事業者が決まっているとか、そこに資本関係があるみたいなことはないというところでございます。

○議長（吉原 美智恵君） 他に質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 117 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、議案第 117 号は、原案のとおり可決されました。

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 118 号 令和 7 年度大山町水道事業会計補正予算(第 3 号)の質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。
これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。
これから議案第 118 号を採決します。お諮りします。
本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。
したがって、議案第 118 号は、原案のとおり可決されました。

（日程第 34）議案第 119 号

○議長（吉原 美智恵君） これから議案第 119 号 工事請負契約の締結について（名和野球場ナイター照明 L E D 化改修工事）の質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。
これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。
これから議案第 119 号を採決します。お諮りします。
本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。
したがって、議案第 119 号は、原案のとおり可決されました。
ここで、休憩いたします。再開は一時です。

午前 11 時 48 分休憩

午後 1 時再開

日程第 35 陳情第 5 号～日程第 36 陳情第 6 号

○議長（吉原 美智恵君） 再開します。

引き続き、日程第 35、陳情第 5 号 免税軽油制度の継続を求める陳情書と日程第 36、陳情第 6 号 消費税率 5%への引下げとインボイス制度の廃止を求める陳情書を議題とします。審査結果の報告を求めます。

総務経済常任委員長 西本憲人議員。

○総務経済常任委員長（西本 憲人君） それでは、本委員会に付託された陳情 2 件の審査をした結果、次のとおり決定したので、会議規則第 94 条第 1 項の規定により報告いたします。

陳情第 5 号 免税軽油制度の継続を求める陳情書です。

審査結果は採択です。

委員会の意見ですが、採択の意見として、農業、漁業、索道スキー場などですね、町内など幅広く利用されており、免税制度が廃止されれば経営的負担が大きい。

特に農林水産業では、町にとって、農林水産業は町にとって基幹産業であり、継続は必要不可欠という意見がありました。

不採択の意見として、ガソリン税や暫定税率の扱い、輸送業者への影響など、国の税制改正議論が秋から冬にかけて予定されており、その結果を待って継続審議すべきという意見がありました。

採決の結果、採択 6 人、不採択 1 人にて、採択と決しました。

次に、陳情第 6 号 消費税率 5% への引上げとインボイス制度の廃止を求める陳情書です。

審査結果は不採択です。

委員会の意見ですが、不採択の意見として、減税分を法人税や所得税で補うとされているが、影響が大き過ぎ現実的ではない。消費税は誰かが必ず負担しなければならない税であり、単純な引下げは財政全体に影響し持続可能性を欠く、という意見でした。

インボイス制度に関して、制度が始まったばかりで、現状で廃止を求めるのは時期早々という意見がありました。

採決の結果、全会一致で不採択と決しました。以上で報告を終わります。

（日程第 35） 陳情第 5 号

○議長（吉原 美智恵君） これから陳情第 5 号 免税軽油制度の継続を求める陳情書について、委員長報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから陳情第 5 号を採決します。お諮りします。

この陳情に対する委員長報告は採択です。

この陳情は、委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、陳情第5号は、採択とすることに決定しました。

（日程第36） 陳情第6号

○議長（吉原 美智恵君） これから陳情第6号 消費税率5%への引下げとインボイス制度の廃止を求める陳情書について、委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

○議員（6番 豊 哲也君） 議長、6番。

○議長（吉原 美智恵君） 6番 豊議員。

○議員（6番 豊 哲也君） すいません。理由として三つ挙げられていたんですけども、その三つとも願意に対して、不採択にする理由には、当たらないかと思っています。

あとそれと、今回三つの理由が挙げられているのが理由に当たらないと思うので、その消費税であるとか、インボイスの理解があまりされてないんじゃないかなと思っています。陳情者に対してのヒアリング等、行われたんでしょうか。

○総務経済常任委員長（西本 憲人君） 議長。

○議長（吉原 美智恵君） 西本総務経済常任委員長。

○総務経済常任委員長（西本 憲人君） 陳情者へのヒアリングは行っておりません。

○議員（6番 豊 哲也君） 議長。

○議長（吉原 美智恵君） 6番、豊議員。

○議員（6番 豊 哲也君） その三つをですね理由に関して、そぐわないと思うんですけども、その内容に関してをお聞かせ頂きたいのと、あと審議不足なんじゃないかなと思ってるんですけども、その2点お聞かせいただけますか。

○総務経済常任委員長（西本 憲人君） 議長。

○議長（吉原 美智恵君） 6番 西本総務経済常任委員長。

○総務経済常任委員長（西本 憲人君） すいません。内容がそぐわないというのは、具体的なところで言っていたほうが、具体的にお答えできるかなと思いますのでお願いしたいことと、審議不足じゃないかという、調査不足じゃないかなということなんですけれど、調査しましたとしか、よう言えないんですけど、具体的にここが調査不足じゃないですかってことがあれば先ほどの参考人呼んだんでしょうかとか、そういったことに関しては、具体的にお答えできるかなと思います。

一応補足でお伝えしますと、さきの参議院選挙でも消費税の廃止とか、減らすことに對しての争点になっていたんで、そういったことを大前提で皆様にお伝えしてからの審査、調査に入ったという経緯もあります。以上です。

○議長（吉原 美智恵君） 先ほど6番と申しましたが、5番でした。他にありますか。

○議員（6 番 豊 哲也君） 議長。

○議長（吉原 美智恵君） 6 番、豊議員。

○議員（6 番 豊 哲也君） まず 1 点目なんですけども、これに関しては、減税分を法人税や所得税で補うとされているが、ってなってるんですけども、それ以外にも例を挙げて対策を挙げられています。

それとですね、その次のですね、消費税は誰かが必ず負担しなければならない税だという、これは減税を促す上で代替案を何か考えなければいけない、そういったものじゃなくて要望は要望なので、願意を否定するものではないと思います。

また、インボイス制度に関しては、制度が始まったばかりでと言ってます。

しかしこれは 10%を 5%にしたときには、インボイス制度が始まったのは 5%から 8%、10%にするときに、そういうインボイス制度などを導入しないと混乱を生じるんじゃないかと言って、インボイス制度はあったわけです。

ですから、もともとの 5%に戻せば、インボイス制度は要らないんじゃないかというそういう議論の中であるものであって、願意はインボイスではないので全くここに書く必要がないことかなと思っております。この 3 点お願いします。

○総務経済常任委員長（西本 憲人君） 議長。

○議長（吉原 美智恵君） 5 番 西本議員。

○総務経済常任委員長（西本 憲人君） はい。今、豊議員が言われたとおり、そういった観点じゃあ調査がしっかりできていたのかということ、まだ不十分なところがあったようには感じています。

最後のところインボイスのことに関してもなんですけど、インボイスのことに関しては、ほかの消費税率の件に関してよりも、議論が少なかったように思います。そういった意味では、今豊議員が言われたところまで聞き込めていたかって言ったら必ずしもそうではなかったのかなっていうところもございます。以上です。

○議長（吉原 美智恵君） 他にありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

○議員（6 番 豊 哲也君） 議長、6 番。

○議長（吉原 美智恵君） 6 番 豊議員。

○議員（6 番 豊 哲也君） 6 番 豊 哲也です。

委員会報告に対して反対、陳情に対して賛成の立場で討論させていただきます。

こちらですね、まず消費税ですけども、これは預かり税、消費者が負担する預かり税だと皆さん認識をしていることが多いかと思いますが、実際に負担するのは法人です。第 2 法人税にも当たる税です。実際に法人税は、令和 7 年度だと 19 兆、約 19 兆で、消費

税は 25 兆となっています。

また、法人税で今滞納されている金額というのは約 1,300 億円です。消費税は、その約 3 倍、3,900 億円が今滞納されています。何が言いたいのかというと、法人税よりも消費税のほうが弱い者いじめをしている。非常に滞納が多い、そうした税だということです。実際に、倒産の原因の 1 番になっているのは消費税です。これは実際に滞納している業者の数が金額に比例するというか多いですので、これで倒産している、消費税で倒産している事業者さんが非常に多いということなんです。

実際に、こういった背景を踏まえて、上がった当初はまだ分からなかったかもしれませんが、ただ、実質的にこれだけ日本の経済をおとしめているのは消費税であると。また願意は 10% から 5%、そうした弱い者いじめをしない、そうした減税をしていくということが願意でありますので、委員会の皆さんが判断された内容というのは、代替案として法人税に置き換えるのはおかしいであるとか、そういったことでありますけども、今の日本の経済を考えると、減税をする、また消費税を例えば廃止する、0% にしたときに、じゃあ税収が増えるか減るのか。実際には減税をすると景気がよくなります。景気がよくなれば、税率が下がったとしても税収は増えるということもあります。実際に消費税をゼロにしても、むしろ税収が増えるんじゃないかという試算もあります。

そうした観点からも消費税は下げるべきであると思ひまして、陳情に賛成、委員会意見には反対という立場で、意見を言わせていただきました。以上です。

○議長（吉原 美智恵君） この陳情に対して賛成者の発言でした。

次に、陳情に対して反対者の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） では、この陳情に対して賛成者の発言はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 次に、この陳情に対して反対者の発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから陳情第 6 号を採決します。お諮りします。

この陳情に対する委員長報告は、不採択ですので、原案に対して採決します。

この陳情を採決することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立少数です。

したがって、陳情第 6 号は、不採択とすることに決定しました。

日程第 37 陳情第 7 号～日程第 40 陳情第 10 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 37、陳情第 7 号 豊かな学びの実現、教職員定数改

善を図るための 2026 年度政府予算に係る意見書採択の陳情書から、日程第 40、陳情第 10 号 保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情までの 4 件を一括議題とします。

審査結果の報告を求めます。教育民生常任委員長、大森正治議員。

○教育民生常任委員長（大森 正治君） 陳情審査報告書。

本委員会に付託された陳情を審査した結果、次のとおり決定したので、会議規則第 94 条第 1 項の規定により報告します。

陳情第 7 号 豊かな学びの実現、教職員定数改善を図るための 2026 年度政府予算に係る意見書採択の陳情書は、審査の結果、採択でした。

委員会の意見としまして、児童・生徒の豊かな学びとそれを保障する教職員の定数改善のために、少人数学級の推進、教職員の働き方改革・長時間労働是正など、どの項目も納得できるものである。

採決の結果、全会一致で採択と決しました。

陳情第 8 号 「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情書は、審査結果として採択です。

委員会の意見は、子どもたちの豊かな学びを保障し、教職員の長時間労働を解消するために、カリキュラム・オーバーロード、すなわち教育課程の内容と時数が多過ぎて、子どもや教職員に過大な負担がかかる状態を改善することは必要かつ重要である。

採決の結果、賛成 6、反対 1 で採択と決しました。

続きまして、陳情第 9 号 保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書は、採択と決しました。

委員会の意見としまして、全国では保育士の負担が増大し、保育所での子どもの事故が増えている現状を考えれば、保育士の配置基準引き上げは当然である。2024 年に国の配置基準が改定されたが、不十分さが残りさらなる改善が必要である。

採決の結果、賛成 6、反対 1 で採択と決した。

陳情第 10 号 保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情は、不採択となりました。

委員会の意見としまして、公費助成の割合が減ってきてぎりぎりの単価で運営している社会福祉法人がほとんどで、退職手当に回す財源がないなか、公費助成の継続が望まれるという賛成意見があった。

一方、本町には社会福祉法人が経営する保育所はなく、すべて公立保育所であるため、この陳情はなじまないという反対意見があった。

採決の結果、賛成 2、反対 5 で不採択と決しました。以上です。

（日程第 37） 陳情第 7 号

○議長（吉原 美智恵君） これから、陳情第 7 号 豊かな学びの実現、教職員定数改善を図るための 2026 年度政府予算に係る意見書採択の陳情書について、委員長報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから陳情第 7 号を採決します。お諮りします。

この陳情に対する委員長報告は採択です。

この陳情は、委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、陳情第 7 号を採択することに決定しました。

（日程第 38） 陳情第 8 号

○議長（吉原 美智恵君） これから陳情第 8 号 「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情書について、委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから陳情第 8 号を採決します。お諮りします。

この陳情に対する委員長報告は採択です。

この陳情は、委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、陳情第 8 号は採択とすることに決定しました。

（日程第 39） 陳情第 9 号

○議長（吉原 美智恵君） これから陳情第 9 号 保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書について、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから陳情第 9 号を採決します。お諮りします。

この陳情に対する委員長報告は採択です。

この陳情は、委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、陳情第 9 号は採択とすることに決定しました。

（日程第 40） 陳情第 10 号

○議長（吉原 美智恵君） これから陳情第 10 号 保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情について、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから陳情第 10 号を採決します。お諮りします。

この陳情に対する委員長報告は、不採択ですので、原案に対して採決します。

この陳情を採択することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立少数です。

したがって、陳情第 10 号は不採択とすることに決定しました。

日程第 41 発議案第 5 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 41、発議案第 5 号 免税軽油制度の継続を求める意見書の提出についてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。提出者、総務経済常任委員会委員長、西本憲人議員。

○総務経済常任委員会委員長（西本 憲人君） 発議案第 5 号 免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について。

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第 14 条第 3 項の規定により提出いたします。

令和 7 年 9 月 25 日。提出者 大山町議会総務経済常任委員会委員長、西本憲人。

提案理由の説明をいたします。

9 月 3 日、総務経済常任委員会に付託された陳情第 5 号 免税軽油制度の継続を求める陳情書について審査した結果、採択すべきものと決したので、ここに意見書の提出を發議するものであります。

意見書を読み上げます。

免税軽油制度の継続を求める意見書。

これまで農業・漁業経営や索道事業などに貢献してきた免税軽油制度が、地方税法の改正によって、このままでは令和 9 年 3 月末日で廃止される状況にあります。

免税軽油とは、道路を走らない機械に使う軽油については、軽油引取税（1 リットル当たり 32 円 10 銭）を免税するという制度で、農業用の機械（耕運機、トラクター、コンバイン、栽培管理用機械、畜産用機械など）や漁業での船舶、スキー場では、索道事業者が使うゲレンデ整備車及び降雪機、他倉庫で使うフォークリフト、重機など、道路を使用しない機械燃料の軽油は、申請すれば免税が認められてきたところであり、

免税軽油制度がなくなれば、軽油を大量に使う畜産農家や野菜・園芸農家をはじめとした農業経営、漁船で行う漁業経営、スキー場の経営維持への影響は深刻であります。制度の継続は、地域産業を振興させる観点からも有効であり、その継続が強く望まれています。

よって、国においては農林水産業や観光産業等幅広い産業への影響にかんがみ、免税軽油制度を継続するよう強く要望いたします。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出いたします。

令和 7 年 9 月 25 日 鳥取県大山町議会 議長 吉原美智恵。

意見書の提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、です。以上で提案理由の説明を終わります。

○議長（吉原 美智恵君） これから、發議案第 5 号 免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認めこれで討論を終わります。

これから發議案第 5 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、発議案第 5 号は、原案のとおり可決されました。

日程第 42 発議案第 6 号～日程第 44 発議案第 8 号

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 42、発議案第 6 号 少人数学級、教職員定数の改善に係る意見書の提出についてから、日程第 44、発議案第 8 号 保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書の提出についてまでの 3 件を一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。提出者、教育民生常任委員長、大森正治議員。

○教育民生常任委員長（大森 正治君） 少人数学級教職員定数の改善に係る意見書の提出について、上記の議案を別紙のとおり、会議規則第 14 条第 3 項の規定により提出します。

提案理由としまして、9 月 3 日、教育民生常任委員会に付託された陳情第 7 号 ゆたかな学びの実現、教職員定数改善を図るための 2026 年度政府予算に係る意見書採択の陳情書を審査した結果、採択すべきものと決したので、ここに意見書の提出を発議するものであります。

少人数学級教職員定数の改善に係る意見書。読み上げます。

学校現場では、貧困・いじめ・不登校・教職員の長時間労働や未配置など解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠です。

2021 年の「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律」により、国の小学校の学級編制標準は 25 年度までに 35 人に引き下げられました。また中学校においては 26 年度から引き下げる方針となっています。

今後は、高等学校での早期実施と、きめ細かい教育活動をすすめるために、さらなる学級編制標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要です。

よって、国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記。

1. 高等学校での 35 人学級を早急に実施すること。また、さらなる学級編制標準の引き下げ等少人数学級について検討すること。

2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。

3.自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。

4.教職員の処遇について、新規採用を持続的に確保し、専門性を発揮し意欲をもって働くことができるよう、改善に必要な財政措置を講じること。

5.新卒者の就業機会や教職員の年齢構成のバランスの確保等の観点を十分に考慮し、すべての自治体で定年引上げ期間中に教職員の安定的な新規採用ができるよう、定数加配措置をはじめとした必要な財政措置を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和7年9月25日。鳥取県大山町議会議長 吉原 美智恵。

提出先は、衆議院議長様、参議院議長様。以上です。

それです、続まして・・・

○議長（吉原 美智恵君） 大森議員。最後の行き先の宛名ですけど、まだありました。

○教育民生常任委員長（大森 正治君） 失礼しました。提出先が次のページにまたがっておりまして、それを付け加えさせていただきます。

ほかに、内閣総理大臣様、財務大臣様、総務大臣様、文部科学大臣様でございます。

次に、「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書の提出について。

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条第3項の規定により提出します。

提案理由。9月3日、教育民生常任委員会に付託された陳情第8号「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情書について審査した結果、採択すべきものと決したので、ここに意見書の提出を発議するものであります。

読み上げます。

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書。

今、学校現場では、小・中・高を合わせると41万人を超える不登校の子どもの数（23年度）が文科省調査で明らかになっています。とりわけ小・中学校では11年連続で増加し、過去最多となっています。また貧困・いじめ・教職員の未配置など解決すべき課題が山積しており、教職員は長時間労働の実態も改善されず、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。

学習指導要領の改訂は、子どもたちのゆたかな学びの保障や、教職員の「働き方改革」に大きくかかわります。「カリキュラム・オーバーロード」の状態を改善することが喫緊の課題です。このため、次期学習指導要領の内容の精選や、標準授業時数の削減が強く求められます。

つきましては、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記。

1.子どもたちのゆたかな学びを保障するため「カリキュラム・オーバーロード」の早

期改善に向けて、学習指導要領の内容の精選を行うこと。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出します。

令和 7 年 9 月 25 日。鳥取県大山町議会議長 吉原美智恵。

提出先、衆議院議長様、参議院議長様、内閣総理大臣様、財務大臣様、総務大臣様、文部科学大臣様、以上です。

続きまして、保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書の提出について。

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第 14 条第 3 項の規定により提出します。

提案理由。9 月 3 日、教育民生常任委員会に付託された陳情第 9 号 保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書を審査した結果、採択すべきものと決したので、ここに意見書の提出を発議するものです。

意見書を読み上げます。

保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書。

保育所は、子育てをささえる施設であり、幼い子どもの発達を保障し、いのちを守るために不可欠な社会資源になっています。

保育所の機能拡充がすすむ一方で、職員配置や施設基準の改善はすすまず、職員の負担増が深刻になっています。保育所での事故が増大している状況などを踏まえれば、現在の配置基準は不十分であり、子どもの命と安全を守るためにも保育士増員が急務となっています。

国は 2024 年 4 月に「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」を改定し、4・5 歳児 25 人に対し保育士 1 人、3 歳児 15 人に対し保育士 1 人としましたが、期限の定めのない経過措置が設けられています。また、1 歳児の配置基準引上げ(5 対 1)については、法令改定はされず、2025 年予算に加算措置が盛り込まれましたが、要件が厳しく対象となる施設が限定されています。

すべての施設において基準以上の条件での保育を実現するために、1 歳児の加算要件をなくした上で法令改定により基準を引上げること、3 歳児、4・5 歳児は経過措置を撤廃すること、保育士等職員の負担を軽減し、子ども一人ひとりに対してていねいなかかわりを保障するためにすべての年齢で基準をさらに改善することが、保育現場と保護者の切なる願いです。

この内容を踏まえ、国におかれては、保育士配置の基準引上げの早期完全実施とさらなる改善を実施することを強く求めます。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出します。

令和 7 年 9 月 25 日。鳥取県大山町議会議長 吉原 美智恵。

提出先、衆議院議長様、参議院議長様、内閣総理大臣様、内閣府特命担当大臣(こど

も政策)様、こども家庭庁長官様、文部科学大臣様、財務大臣様、以上であります。

○議長(吉原 美智恵君) ただいま、3件の提案理由の説明が終わりましたので、この後、質疑、討論、採決を1件ずつ行います。

----- . ----- . -----

(日程第42) 発議案第6号

○議長(吉原 美智恵君) これから、発議案第6号 少人数学級教職員定数の改善に係る意見書の提出についての質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(吉原 美智恵君) 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(吉原 美智恵君) 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから発議案第6号を採決します。お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長(吉原 美智恵君) 起立多数です。

したがって、発議案第6号は、原案のとおり可決されました。

----- . ----- . -----

(日程第43) 発議案第7号

○議長(吉原 美智恵君) 発議案第7号 「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書の提出について、質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(吉原 美智恵君) 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(吉原 美智恵君) 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから発議案第7号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の事方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長(吉原 美智恵君) 起立多数です。

したがって、発議案第7号は、原案のとおり可決されました。

----- . ----- . -----

(日程第44) 発議案第8号

○議長(吉原 美智恵君) 発議案第8号 保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書の提出について質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 討論なしと認めこれで討論を終わります。

これから、発議案第 8 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（吉原 美智恵君） 起立多数です。

したがって、発議案第 8 号は原案のとおり可決されました。

----- . ----- . -----

日程第 45 議員派遣について

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 45、議員派遣についてを議題にします。

会議規則第 127 条の規定により、御手元に配付しておりますとおり、議員を派遣することにしたいと思います。お諮りします。

議員派遣をすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 異議なしと認めます。

したがって、議員派遣することに決定しました。

----- . ----- . -----

日程第 46 ～ 日程第 49 閉会中の継続調査について

○議長（吉原 美智恵君） 日程第 46、総務経済常任委員会の閉会中の継続調査についてから、日程第 49、議会運営委員会の閉会中の継続調査まで、計 4 件を一括議題にします。

総務経済常任委員会、教育民生常任委員会、広報常任委員会、議会運営委員会の各委員長から委員会の所管事務について、第 75 条の規定により、御手元に配付しました申出書のとおり、閉会中の継続調査の申出があります。お諮りします。

各委員長の申出のとおり閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉原 美智恵君） 異議なしと認めます。

したがって、各委員長から申出のとおり、閉会中の諸継続調査とすることに決定しました。

----- . ----- . -----

○議長（吉原 美智恵君） これで本定例会に付議された案件は全て終了しました。
会議を閉じます。

令和 7 年第 7 回大山町議会定例会を閉会します。

○議会事務局長（野間 光君） 互礼を行いますのでご起立下さい。一同礼。
お疲れ様でした。

午後 1 時 43 分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する

議 長 吉原 美智恵

署名議員 池田 幸恵

署名議員 大原 広巳